

要 請 書 (案)

私たち売買春問題ととりくむ会は、かねてから強制軍隊「慰安婦」問題にとりくんできました。国会にもたびたび要望してまいりましたが、ここにあらためて、左記のことを要請する次第です。

「慰安婦」問題は加害者日本の戦後責任が問われていることを銘記し、政府に執行を委ねるのではなく、国権の最高機関たる国会がまず謝罪の決議をすることが肝要です。戦後補償に関する特別委員会を設置し、また法律を制定して事態解決をはかることが必要でありましょう。

すでに国連人権委員会をはじめとして、関連の諸会議で戦時下の性暴力として論議され、特別報告者も任命されました。日本がどう行動するか、世界の注目的といっても過言ではありません。十月に開催された第二回強制「従軍慰安婦」問題アジア連帯会議で各国代表はひとしく日本の責任を追及しました。

国会は、国会質疑で政府の態度をただすのみでなく、国会独自の力で責任をはたすべきであると私たちは考えます。戦争で私たち日本がおかした罪を心から謝罪し、アジアの国々からの信頼をかちうるために、私たち主権者の代——としての国会議員の賢明な行動を切望いたします。

売買春問題ととりくむ会

あけぼの会

日本看護協会

救世軍

日本キリスト教協議会女性委員会

✓ 新日本婦人の会

日本キリスト教婦人矯風会

全国地域婦人団体連絡協議会

✓ 日本青年団協議会

全国婦人相談員連絡協議会

✓ 日本婦人会議

全国婦人保護施設連絡協議会

日本婦人団体連合会

東京キリスト教女子青年会

日本婦人有権者同盟

東京婦人相談研究会

婦人民主クラブ